

2021年6月1日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術時の腸骨動脈用補助デバイスの単体使用
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	腹部大動脈瘤を有する患者様で、分岐型デバイスよりも直線型デバイス(腸骨動脈補助用デバイス)の方が適した解剖学的特徴を有する患者様。
承認日	2021年5月25日
対象期間	2021年6月1日から永続的に使用
概要	<b>【目的・意義・想定される不利益】</b> 現在、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術において、腸骨動脈用補助デバイスは分岐型デバイスと併用することで保険適用となっている。腹部大動脈瘤の中には、大動脈瘤下端から大動脈分岐部までに距離があり、かつ、大動脈分岐部の径が小さい為に、分岐型デバイスの使用が困難な症例がある。このような症例は腸骨動脈用補助デバイスのみを用いることで治療可能となる場合がある。また、腸骨動脈用補助デバイスのみで治療することで手技の低侵襲化や手術時間の短縮といったメリットもある。腸骨動脈用補助デバイスのみを用いて腹部大動脈瘤を治療することは全国的に広く行われており、安全性や有効性は通常のスチントグラフト内挿術と比較して遜色ないものであると思われる。
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111 (内線 6293)

以上